

ドラッグストアにおける 「有事対応備蓄啓発キャンペーン」について

発行：日本チェーンドラッグストア協会 有事対応委員長 池野隆光

日本チェーンドラッグストア協会では、東日本大震災から2年を迎えるにあたり、全国の加盟店15000店舗で「有事対応備蓄啓発キャンペーン」を行ないますので、お知らせいたします。

前回の支援活動の教訓として、被災者への避難所支援も大切であるが、それ以上に「家庭内備蓄」が大切であると感じました。そこで、東日本大震災2年目を迎える3月11日から、全国のドラッグストア15000店舗の店頭で、災害発生時の被害を少なくする対応とあわせ、その後の被害（二次災害）防止のため、家庭内における医薬品や衛生用品等の備蓄を呼びかける活動を行ないます。

なお、このキャンペーン内容は、生活者団体から当協会に強く要請・要望があったものであります。

■キャンペーン内容

- 全国15000店舗の店頭で「備蓄啓発キャンペーンポスター」の貼付と、「備蓄リスト付パンフレット」の配布を行ないます。

また、今月15日から幕張メッセで開催されます第13回JAPANドラッグストアショーでも、来場者約13万人（見込み）に「家庭内備蓄」を呼びかけます。また、協会テーマブースでも、パネル展示で訴求します。

さらに、協会ホームページからも備蓄リストがダウンロードできるようにします。

- 「備蓄啓発キャンペーンポスター」※添付したポスターをご覧ください。

A3サイズ・カラー・3万枚・全会員店舗約15000店舗にて貼付
家庭内備蓄とそのポイントを訴えかけます

- 「備蓄リスト付パンフレット」現在、専門家監修中

変形A4版観音折・カラー・150万部・全会員店舗約15000店舗にて配布

内容：家庭内備蓄とそのポイント、医薬品、衛生用品リスト（チェックシート）など

監修：㈱エス・アイ・シー 医薬情報部門責任者・薬剤師 堀美智子氏

防災システム研究所 所長 山村武彦氏

なお、3月15日に行ないます第13回JAPANドラッグストアショーの記者会見会場で、有事対応委員長より、今回のキャンペーンについての記者会見を行ないます。

報道関係の皆様には、今回のキャンペーンを広く、生活者に伝えていただき、水、食料に加えて、医薬品、衛生用品等の家庭内備蓄が進みますよう、お力添えをいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階

TEL. 045-474-1311

FAX. 045-474-2569